



新年にあたり、謹んで新春をお祝い申し上げます。

さて、昨年より静岡空港近くの坂口に今春開校を予定しております
フジ・トレーニング・アカデミー（FTA）はレオナルド社・CAE社他、各社のご協力を得て
コロナ禍にも拘わらず計画通りに準備が進んでいます。

現在、ヘリコプター業界に於いては実機の運航コストが高価であることや、
フル・フライト・シミュレータ（FFS）は勿論、固定のフライト・トレーニング・デバイス
（FTD）も十分に利用されているとは言えず、操縦技量の訓練のみならず、
機体のシステムや装備についての訓練講座も十分に行われているとは言えない状況です。
数十年前に取得した型式限定免許は同じ機種であれば
最新の装備をした機体であっても免許は有効で操縦が可能です。

弊社はこうした従来の技量維持の仕方に大いに疑問を抱き、安全運航の立場からは勿論ですが、操縦士、整備士の技量、
知識の向上を図らなければ世界標準から取り残されてしまうことを危惧し、EASAやFAAの基準に則りレオナルド社の
正式な訓練センター（ATC）としての承認を取得するべくFTAを設立しました。

当FTAに於いては、FTD、及び実機と同様のLevel-DのFFSを活用して緊急・非常操作訓練や計器飛行、
RNAV、VNAVなどの訓練を行う予定です。

このFFSは、1月4日付けで国土交通大臣の認定を取得し、弊社での訓練はLog Bookにも正式に記載が可能です。
弊社は単に技量の訓練を行うだけでなく座学での訓練にも力を入れていく予定であり、ATCの認証を取得後は製造メーカーである
レオナルド社の最新の教材を使い、イタリアと同じ内容の座学を日本語で受講可能となります。

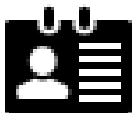
また、FFSに加え固定のFTDも設置し、AW109SP、AW139の訓練にも共用されています。

更に、整備士の訓練などに活用できるメンテナンス・トレーニング・シミュレータ（MTS）としてAW139の実機も設置され、
訓練生が快適に講習を受けられるようにFTA内には専用教室の他にプリーフィングルーム、デ・プリーフィングルーム、自習室、
カフェテリアを併設しています。

訓練内容については今後、順次発表していく所存です。

今後とも皆様方のご利用を心よりお待ちしております。

株式会社フジアビエーションシステムズ
代表取締役社長 米原 慎一



目次

- ・日本初導入 レオナルド式AW139型フル・フライト・シミュレータ（FFS）坂口トレーニングセンター到着
- ・国土交通大臣よりレオナルド式AW139型フル・フライト・シミュレータ（FFS）の認定を取得
- ・FUJI TRAINING ACADEMYへのアクセス

日本初導入

レオナルド式AW139型フル・フライト・シミュレータ(FFS)坂口トレーニングセンター到着



21年6月、弊社パイロットと整備士がカナダで領収検査を行い、その後日本に海上輸送されたレオナルド/CAE社製AW139型模擬飛行装置（フル・フライト・シミュレータ：FFS）が10月中旬に静岡県牧之原市坂口のトレーニングセンターに到着しました。組み立て作業は順調に進み、12月20日から23日に国土交通省の認定検査を受検し、FFS最高位のLevel-Dを取得しました。

日本初となるこのAW139フル・フライト・シミュレータは、イタリアのレオナルド社とカナダのCAE社とが共同で開発しました。実機コックピット搭載機器の忠実な模擬、機体運動により変化する加速度感をパイロットに与える6自由度モーション装置、ヘリコプター特有の振動を模擬する3自由度のバイブレーション装置、そして窓外視界を模擬するビジュアル装置を備えています。

ビジュアル装置（表示部）は水平210°、垂直80°の視界野範囲を有する10フィート・ドーム式で、窓外模擬映像をドームスクリーンへ8台のプロジェクターで投影します。装備されたプロジェクターの光源はLEDを採用しIR強度の制御が可能のためナイトビジョンゴーグル（NVGモード時）に対応できます。

教官卓には、タッチセンサー付きモニターが2台設置され、天象・気象の環境設定をはじめ、燃料重量やCGの設定、各システムに関する模擬故障など訓練に必要な設定を行うことができます。

またマップ画面では飛行航跡やミッションシナリオ時の救助位置の表示、デブリーフィング用の飛行、航法、通信及び窓外映像の録画を行うことができます。

このようにFFS Level-Dの性能・機能要件を満たしたFFSは、操縦士の実技訓練に活用することにより、これまで安全上の理由から実機では難しかった非常操作訓練に必要な故障の想定設定が可能となり、反復訓練することにより安全性を確保しつつ訓練の効率アップならびに成果向上が期待できます。訓練を受ける操縦士の自信に繋がることが期待でき、安全かつ安定的な運航の確保に必ず貢献させていただけると確信しております。

同施設内の弊社AW139型飛行訓練装置（フライト・トレーニング・デバイス：FTD）は昨年7月より稼働開始して以来、通常操作手順、非常操作手順などの基本操作を反復訓練できることから、ご利用の皆様からご好評をいただいています。

弊社は、22年1月中旬からFFSのテスト・リハーサルを重ね、2月中旬以降のFFS実質稼働を目指します。

国土交通大臣より

レオナルド式AW139型フル・フライト・シミュレータ(FFS)の認定を取得



【認定を受けた航空機の型式】レオナルド式AW139型フル・フライト・シミュレータ (FFS) Level-D

フジトレーニングアカデミーは、12月20日から23日にかけて、国土交通省航空局によるレオナルド式AW139型模擬飛行装置（フル・フライト・シミュレータ：FFS）の認定検査を受け、1月4日付で国土交通大臣よりLevel-Dの認定を取得しました。回転翼機FFS Level-Dの認定取得は本邦初であり、回転翼機模擬飛行装置史上記念すべき快挙と言えます。今や、本FFSによる訓練は、実機で操縦した時間、経験等加算入可能となりました。詳しくは航空法施行規則第158条、160条、別表第二をご確認ください。

FFSは、実機では困難な270以上の非常操作訓練や、故障模擬、悪天候下での訓練等を安全且つ繰り返し訓練することが可能です。また、デブリーフィング室には訓練中の飛行状況、訓練生の操作や教官との交信など、一連の流れを再生するモニターが装備されており、操縦室の録画に加え飛行データ、機体の姿勢の画面を見ながら訓練飛行を振り返ることができます。

是非、施設見学、並びに実装置の体験にお越しください。



FUJI TRAINING ACADEMYへのアクセス

フジトレーニングアカデミーは、富士山静岡空港より3.6Km、車で約5分の坂口トレーニングセンター内にあります。広大な牧之原台地を背に、静岡で落ち着いた環境で訓練を受講いただけます。

【電車・バスでのアクセス】

JR藤枝駅南口より、富士山静岡空港アクセスバスをご利用いただき、『空港南』バス停で下車。運航ダイヤ、料金については、下記URLをご参照下さい。

<https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/benri/bus/1450040564208.html>

【お車でのアクセス】

東名高速道路『吉田IC』より7.6Km、約12分

東名高速道路『相良牧之原IC』より10.5Km、約15分です。

【飛行機でのアクセス】

下記の空港と富士山静岡空港の間に空路がございます。

尚、富士山静岡空港からは、アクセスバス（約7分、片道500円）またはタクシー（約5分、片道1,500円）でのご移動となります。

各航空会社の運航ダイヤ、料金につきましては、下記URLをご参照ください。

◆フジドリームエアラインズ（2021年冬ダイヤ）

新千歳空港 1日1往復

出雲空港 1日1往復

福岡空港 1日4往復

熊本空港 1日1往復

鹿児島空港 1日1往復

※一部路線の運休があります。

フジドリームエアラインズの公式ホームページをご確認ください。

<https://www.fujidream.co.jp/timetable/>

◆全日本空輸（2021年冬ダイヤ）

新千歳空港 1日1往復 ※期間限定運航

那覇空港 1日1往復 ※期間限定運航

<https://www.ana.co.jp/fs/dom/jp/>



【最寄りの宿泊施設】

《藤枝駅周辺》

・ホテルルートイン藤枝駅北 ※弊社契約料金でお得にご宿泊が可能、坂口トレーニングセンターまで 朝夕の無料送迎車付きです。

・ホテルオーレ藤枝

・東横INN静岡藤枝駅北口

《吉田インター周辺》

・ホテルルートイン島田吉田インター

・ハタゴイン静岡吉田インター

FAS 株式会社フジアビエーションシステムズ

【本社】

〒420-0859 静岡県静岡市葵区栄町1-3

TEL (054) 653-4800 FAX (054) 273-7799

【FUJI TRAINING ACADEMY】

〒421-0411 静岡県牧之原市坂口2053-1

TEL (0548) 23-3118 FAX (0548) 23-3117

<https://www.fuji-aviation.co.jp/>

問合せ先：株式会社フジアビエーションシステムズ

プロジェクト事業推進本部 FTA事業推進部

担当：柿下 e-mail: info@fuji-aviation.co.jp

TEL (0548) 23-3118

FAS-事業第21-019号